

川越市一般廃棄物処理基本計画  
『ごみ処理基本計画』編

平成29年度実績に対する  
点検・評価に関する報告書

平成30年10月

川越市

## 1 計画の概要

- (1)策定根拠 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条  
 (2)計画期間 平成28年度から平成42年度  
 (3)目標年度 第1次目標年度 平成32年度  
 第2次目標年度 平成37年度

## 2 人口推計の確認

	①計画収集人口	②10/1住基人口	乖離 (②-①)
H28年度	350,552	351,432	880
H29年度	350,744	352,393	1,649
H30年度	350,738		
H31年度	350,515		
H32年度	350,081		

※推計人口と実際の人口にほとんど乖離はない。

## 3 数値目標の確認

項目	評価
ごみ年間排出量	目標達成に向けて減少している。
1人1日当たりのごみ排出量	目標達成に向けて減少している。
資源回収を除く家庭系1人1日当たりの排出量	基準値(H24年度)の排出量を下回ったが、前年度より増加した。
リサイクル率(資源化率)	前年度の率を下回った。
最終処分量	基準値(H24年度)の処分量を下回ったが、前年度より増加した。

※詳細は「別表 数値目標確認表」のとおり

## 4 施策の確認

項目	評価
【方針1】 市民・事業者・行政の協働によるごみ減量・資源化(3R)の推進	環境教育・啓発活動・地域活動の推進並びに発生・排出抑制の推進(2Rの優先)並びに再資源化の推進の一部に遅れが見られる。
【方針2】 環境負荷の少ない適正処理の実施	概ね順調に実施されている。

※詳細は「区分別の施策の進行管理」及び「取組みの進行管理」のとおり

## 5 総括

平成29年度においては、推計人口と実際の人口についてほとんど乖離は見られなかった。

数値目標については、紙需要の低迷により資源化総量が減少しており、リサイクル率については、前年度実績値を上回ることができなかった。また、最終処分量については前年度実績値より増加している。なお、ごみの排出量は年々減少傾向にあるが、家庭系ごみの減少に比べ事業系ごみの排出量は相対的に増加している。

基本方針を達成するために設けた各施策については、前年度目標に達しないものがあった。目標に達しなかった施策については、外的要因に起因するものもあるが、目標達成に向けて着実に推進していく必要がある。

別表 数値目標確認表

区 分	基準値 H24年度	実績値 H28年度	実績値 H29年度	実績値 H30年度	実績値 H31年度	実績値 H32年度	第1次 目標年度 H32年度	第2次 目標年度 H37年度	第3次 目標年度 H42年度
ごみ年間排出量 (t) 【下段：比率】 ※1	114,211 (100)	112,209 (98.2)	111,548 (97.7)				109,188 (96)	107,958 (95)	105,816 (93)
1人1日当たり のごみ排出量 (g/人日) 【下段：減率】	904	875 (3.2%減) ※2	867 (4.1%減) ※2				855 (5.5%減)	855 (5.4%減)	855 (5.4%減)
資源回収を除く 家庭系1人1日 当たりの排出量 (g/人日)	519	497 (4.2%減) ※3	500 (3.7%減) ※3				467 (10%減)	466 (10.2%減)	466 (10.2%減)
リサイクル率 (資源化率) (%)	24.8	23.5 ※4	23.1 ※4				30	35	35以上
最終処分量 (t)	3,157	2,946	3,057				1,000 以下	1,000 以下	1,000 以下
参考 事業系ごみ 排出量 (t)	26,799	29,117	28,701				28,218	28,246	27,950

( )内は対基準値比(平成24年度を100とする)を示します。

※1 集団回収量含む

※2  $\text{ごみ年間排出量} \div 10\text{月1日人口} \div \text{年間日数}$

※3  $\text{定時収集(可燃、不燃)} + \text{戸別収集(粗大)} + \text{戸別収集(ふれあい可燃、ふれあい不燃)}$   
 $+ \text{自己搬入家庭系(可燃、不燃)} \div 10\text{月1日人口} \div \text{年間日数}$

※4  $\text{総資源化量} \div \text{ごみ年間排出量} \times 100$

## 区分別の施策の進行管理

### 【方針1】市民・事業者・行政の協働によるごみ減量・資源化(3R)の推進

(1)環境教育・啓発活動・地域活動の推進	
①環境教育に関する施策	順調に実施されている。
②啓発活動に関する施策	順調に実施されている。
③環境プラザ(つばさ館)の活用	施設見学では市外からの見学者が減少した。
④市民協働に関する施策	概ね順調に実施されている。 平成29年度のクリーン川越市民運動参加人数が大幅に減少したのは、ごみゼロ運動の当日に台風が上陸し、開催日を翌週に変更したためである。
<b>★区分の評価</b> 概ね順調に実施されているが、③環境プラザ(つばさ館)の活用に関する施策では「施設見学」の団体数が前年度より減少した。	

(2)発生・排出抑制の推進(2Rの優先)	
①発生・排出抑制に関する施策	概ね順調に実施されている。
②再使用に関する施策	リユース可能な不用品が減少している。
③事業者の排出抑制	概ね順調に実施されている。
<b>★区分の評価</b> 概ね順調に実施されているが、②再使用に関する施策では、「つばさ館でのリユース品頒布」で、リサイクル物品の売払い収入が前年度より減少した。	

(3)再資源化の推進	
①分別の徹底を推進する施策	概ね順調に実施されている。 雑がみ回収袋配布については、啓発事業のなかで配布に協力した。
②リサイクル活動を支援する施策	紙需要の低迷が、集団回収量に影響している。 (参考)実施団体数 H27:316団体、H28:315団体、H29:309団体
③リサイクルの推進に関する施策	再資源化施策の推進に遅れがある。
<b>★区分の評価</b> ②リサイクル活動を支援する施策及び③リサイクルの推進に関する施策では、実績の一部が前年度の目標に達しなかった。	

**【方針2】環境負荷の少ない適正処理の実施**

(4) 環境に配慮した廃棄物処理システムの構築	
① 収集運搬に関する施策	順調に実施されている。
② 中間処理に関する施策	概ね順調に実施されている。
③ 最終処分に関する施策	概ね順調に実施されている。
④ 地球温暖化防止に関する施策	順調に実施されている。
⑤ 不法投棄対策に関する施策	順調に実施されている。
⑥ 災害廃棄物の対応に関する施策	災害廃棄物処理計画策定に遅れがある。
★区分の評価 概ね順調に実施されているが、⑥災害廃棄物の対応に関する施策では、災害時の「廃棄物処理計画」を策定する必要がある。	

(1)環境教育・啓発活動・地域活動の推進

①環境教育に関する施策	事業名：	<b>(ア)エコチャレンジ(ファミリー・スクール)認定事業</b>					
	事業概要	日常生活に起因する二酸化炭素排出量を削減するため、イベントなどを通じて家庭や学校での、環境に配慮した取り組みを啓発していきます。					
	指標：	エコチャレンジスクール認定率					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	100%	100%	100%			
	進捗状況						
	次年度の目標	100%	100%	100%			
	次年度の課題	認定、取組学校数は56校で、取組から審査まで3か年のサイクルで順調に更新されている。					
	事業名：	<b>(イ)社会科副読本への掲載</b>					
	事業概要	4年生の社会科副読本において、「ごみと住みよいくらし」として掲載するなど、児童のごみ処理に対する認識を深めさせ、ごみ減量意識の高揚を図ります。					
	指標：	社会科副読本への掲載					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	掲載	掲載	掲載			
	進捗状況						
次年度の目標	掲載	掲載	掲載				
次年度の課題	特になし。						
	施策の評価： 順調に実施されている。						

②啓発活動に関する施策	事業名：	<b>(ア)イベントや講座の開催</b>					
	事業概要	ごみや環境に関するイベントや体験型の講座を積極的に開催し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築に向け、市民のごみに対する意識の高揚を図ります。					
	指標：	(環境政策課)出前講座累計開催回数(累計)					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	130	134	139			
	進捗状況						
	次年度の目標	135	139	144			
	次年度の課題	参加者を増やしていく取組について引き続き検討する。					
	事業名：	<b>(イ)出前講座</b>					
	事業概要	出前講座の開催により、ごみの減量・資源化に関する情報提供、周知・啓発の充実を図り、市民のごみに対する意識の高揚を図ります。					
	指標：	(資源循環推進課)出前講座開催回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	14	10	11			
	進捗状況						
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	参加者を増やしていく取組について引き続き検討する。						
事業名：	<b>(ウ)事業者向け研修会</b>						
事業概要	事業者を対象とした研修会を開催し、ごみの減量、資源化への意識向上を図ります。						
指標：	研修会開催回数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	1	1	1				
進捗状況							
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	引き続き事業者向け研修会を実施する。						
	施策の評価： 順調に実施されている。						

③ 環境プラザ（つばさ館）の活用	事業名：	<b>(ア)施設見学</b>					
	事業概要	学校や団体等による施設見学希望への対応、資源化センターの見学コースを常時公開することで、ごみ処理の現状を確認し、ごみ問題への理解を促進します。					
	指標：	施設見学団体数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	48	63	42			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	川越市以外の学校や団体等への環境プラザ「つばさ館」PR方法の検討を行う。					
	事業名：	<b>(イ)イベント・リサイクル体験講座</b>					
	事業概要	ごみ減量・リサイクルに関するイベントやリサイクル体験講座を開催し、市民・事業者の積極的な参加を促進します。					
	指標：	リサイクル体験講座回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	29	28	31			
	進捗状況						
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	新規講座の開拓と講師謝金を必要としない講座の検討を行う。						
	施策の評価： 施設見学では市外からの見学者が減少した。						

④ 市民協働に関する施策	事業名：	<b>(ア)かわごえ環境推進員</b>					
	事業概要	ごみの減量及び地域の快適な生活環境の保全に関して活動する川越環境推進員を支援します。					
	指標：	環境推進員活動数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	579	653	607			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	幅広い活動が実施された。引き続き環境推進員の支援を行う。					
	事業名：	<b>(イ)クリーン川越市民運動(ごみゼロ運動)</b>					
	事業概要	住民参加による啓発・清掃活動を実施することにより、住民の環境美化に対する関心を高め、公共の場の快適な環境づくりを推進します。					
	指標：	クリーン川越市民運動参加人数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	104,678	105,769	85,855			
	進捗状況						
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	多くの方に参加いただいた。引き続きごみゼロ運動の支援を行う。						
	施策の評価： 概ね順調に実施されている。 平成29年度のクリーン川越市民運動参加人数が大幅に減少したのは、ごみゼロ運動の当日に台風が上陸し、開催日を翌週に変更したためである。						

(2)発生・排出抑制の推進(2Rの優先)

①発生・排出抑制に関する施策	事業名 :	<b>(ア)マイバッグ持参の促進</b>					
	事業概要	マイバッグの持参を促進し、ごみとして排出されるレジ袋の削減を図ります。あわせて、過剰包装の自粛を呼びかけます。					
	指標:	広報記事掲載回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	1回	1回	1回			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	広報以外の啓発方法の検討を行う。					
	事業名 :	<b>(イ)生ごみの減量推進</b>					
	事業概要	家庭から排出される生ごみを減量するため、生ごみ処理機器購入費の補助を行っていきます。また、公共施設から排出される生ごみの減量化等を推進します。					
	指標:	生ごみ補助基数達成率(補助基数/予算基数)					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	64.7	55.2	61.6			
	進捗状況						
	次年度の目標	100%	100%	100%			
次年度の課題	生ごみの水切り等、様々な処理器が販売されており、補助対象機種の見直しが必要である。						
事業名 :	<b>(ウ)家庭系ごみ有料化の推進</b>						
事業概要	ごみの発生・排出抑制と分別の徹底を図るため、ごみ処理費用負担の公平性確保の観点から、家庭系ごみ処理の有料化の実施を推進します。						
指標:	設定できない						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	—	—	—				
進捗状況							
次年度の目標	—	—	—				
次年度の課題	家庭系ごみの排出量が減少していることなどを考慮し、現状においては有料化の実施時期ではないと判断した。引き続き、有料化の実施に向けて検討する。						
	施策の評価: 概ね順調に実施されている。						

②再使用に関する施策	事業名 :	<b>(ア)つばさ館でのリユース品頒布</b>					
	事業概要	つばさ館での、リサイクル家具やリサイクル自転車、衣類、雑貨類、本などの有償頒布によりごみの発生を抑制し、環境負荷の低減を図ります。					
	指標:	リサイクル物品売払い収入(千円)					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	9,653.7	9,446.4	8,775.4			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	広報等の媒体を利用し、つばさ館のリユース事業について市民に周知する。					
	施策の評価: リユース可能な不用品が減少している。						



③ 事業者の排出抑制	事業名：	<b>(ア)多量排出事業者認定制度</b>					
	事業概要	事業系ごみの減量・資源化を促進するとともに、事業者によるごみ処理の適正化を図るために、各事業者の実態を調査し、必要な助言・指導を行っていきます。					
	指標：	多量排出事業者資源化率					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	66%	56%	55%			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	事業者のごみの減量・資源化の支援を行う。					
	事業名：	<b>(イ)事業系ごみ搬入検査</b>					
	事業概要	センターに搬入される事業系ごみについて、ごみの組成を把握し、許可業者に対して適正搬入を促進し、排出元の適正排出を促すことで、事業系ごみの減量・資源化を推進します。					
	指標：	検査実施回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	4	4	4			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	効率的な搬入検査体系の検討を行う。					
	事業名：	<b>(ウ)事業系ごみ処理手数料の適正化</b>					
	事業概要	清掃センターに搬入される事業系ごみ処理手数料の適正化を図ります。					
	指標：	-					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	-	-	-				
進捗状況		-	手数料の見直し				
次年度の目標	-	-	-				
次年度の課題	事業系ごみ処理手数料の適正化について検討していく。						
	施策の評価： 概ね順調に実施されている。						

### (3)再資源化の推進

① 分別の徹底を推進する施策	事業名：	<b>(ア)家庭ごみの分け方・出し方発行</b>					
	事業概要	分別収集の徹底を図り、ごみの資源化を促進するため、家庭ごみを出す際のごみ区分をわかりやすく示した『家庭ごみの分け方・出し方』を毎年発行します。また、『ごみ品目マニュアル』の作成を行います。					
	指標：	『家庭ごみの分け方・出し方』の発行					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	発行	発行	発行			
	進捗状況						
	次年度の目標	発行	発行	発行			
	次年度の課題	今後、一部に多言語標記の導入の検討を行う。					
	事業名：	<b>(イ)ごみ分別アプリの活用</b>					
	事業概要	アプリの利用者を増やしていく取り組みにより、市民の分別意識の高揚等に努めていきます。					
	指標：	ダウンロード数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	16,526	23,406	30,235			
	進捗状況						
	次年度の目標	20,000	28,000	35,000			
次年度の課題	ダウンロード数を増やす方策の検討を行う。						
事業名：	<b>(ウ)雑がみ回収袋配布の検討</b>						
事業概要	雑がみの分別徹底に効果がある雑がみ回収袋の配布について検討します。						
指標：	-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	-	-	-	-	-	-	
進捗状況		-	配布の協力	-	-	-	
次年度の目標	-	-	-	-	-		
次年度の課題	引き続き、回収袋の配布について検討していく。						
	施策の評価： 概ね順調に実施されている。 雑がみ回収袋配布については、啓発事業のなかで配布に協力した。						

② リサイクル活動を支援する施策	事業名：	<b>(ア)集団回収事業</b>					
	事業概要	自治会や子供会が自主的に実施している集団回収を支援し、ごみの減量・資源化を図り、循環型社会を目指すため、集団回収を実施する団体や協力業者に報償金や補助金を交付して集団回収活動の支援を行います。					
	指標：	集団回収量(kg/年)					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	7,438,029	6,949,976	6,507,288			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	回収量増加の施策について検討する必要がある。					
	施策の評価： 紙需要の低迷が、集団回収量に影響している。 (参考)実施団体数 H27:316団体、H28:315団体、H29:309団体						

③リサイクルの推進に関する施策	事業名：	<b>(ア)資源物排出機会の拡充</b>					
	事業概要	年2回の拠点回収となっている布類の定時収集化により、可燃ごみの減量と布類の資源化を促進します。また、現在月1回の紙類の排出機会拡充については、更に検討していきます。					
	指標：	—					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	未実施	未実施	未実施			
	進捗状況		—	—			
	次年度の目標	—	—	—	—	—	
	次年度の課題	集団回収実施団体との協議が必要である。					
	事業名：	<b>(イ)草木類資源化拡大事業</b>					
	事業概要	可燃ごみの減量を図るため草木類資源物の受け入れ拡大について検討します。					
	指標：	草木類資源化施設搬入量(t/年)					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	336.46	338.04	284.60			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	受け入れ拡大について引き続き検討する。					
	事業名：	<b>(ウ)植木せん定枝類の再資源化の推進</b>					
	事業概要	草木類資源化施設において、直接搬入される草木類を対象に、土壌改良材として再資源化を行っています。更にチップ化による草木類の再資源化を推進します。					
	指標：	土壌改良材「肥え土」頒布量(t/年)					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	294.62	356.50	343.93			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	土壌改良材の有償頒布について検討している。					
事業名：	<b>(エ)使用済小型電子機器等の再資源化の推進</b>						
事業概要	使用済みの家電製品等を回収し、製品に含まれる有用金属の利活用を推進します。						
指標：	回収量(t/年)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	541.05	509.84	527.26				
進捗状況							
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	拠点回収の実施について見直しを要する。						
事業名：	<b>(オ)焼却灰等の再資源化の推進</b>						
事業概要	ごみの資源化及び最終処分場の延命化を図るため、東清掃センターから発生する焼却灰等のセメント原料化、資源化センターから発生する溶融飛灰の再資源化を推進することで、環境負荷の低減に寄与していきます。						
指標：	最終処分量						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	3,081.9t	2,946.22t	3,057.40t				
進捗状況							
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	再資源化に努め環境負荷の低減に寄与する。						
	施策の評価： 再資源化施策の推進に遅れがある。						

(4)環境に配慮した廃棄物処理システムの構築

① 収集運搬に関する施策	事業名 :	<b>(ア)収集運搬事業の見直し(資源物排出機会の拡充)</b>					
	事業概要	循環型社会の構築に向けた効率的な収集運搬体制の整備を検討します。 [(3)③(ア)資源物排出機会の拡充に同じ]					
	事業名 :	<b>(イ)ふれあい収集の充実</b>					
	事業概要	将来の高齢社会・単身世帯の増加を見据えて実施しているふれあい収集については、継続して実施し、利用者の声を取り入れながら、よりよいサービスとして充実を図ります。					
	指標:	ふれあい収集実施件数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	596	696	827			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	ここ数年の増加傾向に対応するコース見直し及び収集車両の増加について検討します。					
事業名 :	<b>(ウ)戸別収集等の収集方法の検討</b>						
事業概要	家庭ごみ有料化と併せて、戸別回収等の収集方法について検討します。 [(2)①(ウ)家庭系ごみ有料化の推進に合わせて検討]						
	施策の評価: 順調に実施されている。						

② 中間処理に関する施策	事業名 :	<b>(ア)中間処理施設の適正な維持管理</b>					
	事業概要	中間処理施設の適正な維持管理・運営を行い、維持管理に関する各種情報について定期的に市の広報やホームページ等で公表します。					
	指標:	公表回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	12回	12回	12回			
	進捗状況						
	次年度の目標	発行	発行	発行			
	次年度の課題	引き続き定期的に公表します。					
	事業名 :	<b>(イ)東清掃センターの延命化</b>					
	事業概要	老朽化した東清掃センターを長期的に稼働させるために、施設の延命化を図ります。また、延命化後の建て替えについては、エネルギー供給施設としての可能性を含めて検討します。					
	指標:	-					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	-	-	-			
	進捗状況						
	次年度の目標	-	-	-			
	次年度の課題	延命化の工事契約に向けた手続きを行う。					
事業名 :	<b>(ウ)西清掃センターの解体及び跡地の活用</b>						
事業概要	資源化センターの竣工後、稼働停止となった西清掃センターの施設解体を実施していくため、解体に必要な手続きを行うとともに、跡地利用の検討を行う必要がある。						
指標:	-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
指標の実績	-	-	-				
進捗状況							
次年度の目標	-	-	-				
次年度の課題	解体工事を完了させる。また、全庁的に跡地利用の検討を行う必要がある。						
	施策の評価: 概ね順調に実施されている。						

③ 最終処分に関する施策	事業名：	<b>(ア)最終処分場の適正な維持管理</b>					
	事業概要	最終処分場において、法令に基づく基準を遵守した維持管理を行うとともに、二期工事を含めた今後の在り方について検討します。また、周辺環境について定期的な監視を実施し結果を公表するとともに、老朽化が進む水処理施設の更新について検討します。					
	指標：	監視実施回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	12回	12回	12回			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上			
	次年度の課題	定期的な監視を実施し、適正に維持管理を行う。					
	事業名：	<b>(イ)最終処分場の延命化</b>					
	事業概要	資源物の分別収集を推進することによる焼却量の削減及び焼却残渣等の資源化を推進するとともに、小畔の里クリーンセンターの延命化を図ります。					
	指標：	最終処分場残容量					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	12.3%	11.7%	11.6%			
	進捗状況						
次年度の目標	1,000t以下	—	—				
次年度の課題	最終処分物を減らし、小畔の里クリーンセンターの延命化を図る。						
	施策の評価： 概ね順調に実施されている。						

④ 地球温暖化防止に関する施策	事業名：	<b>(ア)廃棄物処理施設での自然エネルギー発電</b>					
	事業概要	環境プラザと草木類資源化施設に設置している太陽光発電施設を中心とした自然エネルギー発電を行い、地球温暖化防止に努めます。					
	指標：	発電量					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	161,585kWh	153,907kWh	159,226kWh			
	進捗状況						
	次年度の目標	—	—	—			
	次年度の課題	太陽光発電を行い、地球温暖化防止に努める。					
	事業名：	<b>(イ)廃棄物処理施設でのごみ発電及び熱利用</b>					
	事業概要	廃棄物処理施設に搬入されたごみについて、焼却処理する際に発生する熱エネルギーを可能な限り回収し、有効利用を図ることで、地球温暖化の防止に努めます。					
	指標：	発電量					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	24,853,140kWh	24,529,960kWh	25,602,470kWh			
	進捗状況						
次年度の目標	—	—	—				
次年度の課題	熱エネルギーを可能な限り回収し、地球温暖化の防止に努める。						
	施策の評価： 順調に実施されている。						

⑤ 不法投棄対策に関する施策	事業名：	<b>(ア)不法投棄対策</b>					
	事業概要	市民の協力を得ながら、関係機関と連携し、不法投棄防止パトロールを実施します。また、監視カメラの活用を推進し、不法投棄の未然防止や早期発見に努めます。					
	指標：	不法投棄対応件数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	860	339	330			
	進捗状況						
	次年度の目標	前年以下	前年以下	前年以下			
	次年度の課題	監視カメラの設置について引き続き検討する。					
	事業名：	<b>(イ)ごみのポイ捨て等の防止対策</b>					
	事業概要	空き缶やたばこの吸い殻等のポイ捨て防止については、市民団体等と連携し、啓発活動を展開します。					
	指標：	広報記事掲載回数					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	1	1	1			
	進捗状況						
次年度の目標	前年以上	前年以上	前年以上				
次年度の課題	広報以外の啓発方法の検討を行う。						
	施策の評価： 順調に実施されている。						

⑥ 災害廃棄物の対応に関する施策	事業名：	<b>(ア)災害時の廃棄物処理体制の検討</b>					
	事業概要	災害時であっても、公衆衛生の面から生活環境を保全し、迅速に適正な処理が実施できるような災害廃棄物処理体制の確立に向けた検討を進めていきます。また、災害発生時の広域的協力体制の整備を推進します。					
	指標：	-					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	指標の実績	-	-	-	-	-	-
	進捗状況						
	次年度の目標	-	-	-	-	-	-
	次年度の課題	より実態に即した災害時の廃棄物処理体制の確立に向けた検討が必要である。					
	施策の評価： 災害廃棄物処理計画策定に遅れがある。						

# 施策体系図

